

令和7年度 第3回 光風荘運営推進会議 議事録

《日 時》 令和7年9月24日（水）午後6時より

《場 所》 高齢者グループホーム光風荘 3階「えんがわ」

《出席者》 委 員：地域代表、家族会代表…計2名

市 職 員 等：高齢者支援課職員、在宅介護支援センター職員…2名

運 営 側：理事長、光風荘施設長、介護職員…計3名

《議 題》

1. 報告事項

（1）入居者、職員の異動について

（2）前回会議以降の活動状況について

2. 行政等からの情報提供

3. その他

■挨拶

「運営」：本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。寒暖差が激しく、体調を崩しやすい天候です。お体を大切にしてください。本日は第3回光風荘運営推進会議になります。忌憚のないご意見をいただき、光風荘の運営に生かしていきたいのでよろしくお願いします。

■会議概要

※ 文中の「委員」は運営推進委員、「運営」は運営側、「市等」は市職員等、「GH」はグループホーム、「特養」は特別養護老人ホームの略。

1. 報告事項

（1）入居者、職員の異動について

○入居者

- ・入退居はなし。
- ・申込者数は19名、内判定会議通過済みの方は3名。
- ・現入居者様の全体平均介護度は2.88。平均年齢は89.8歳、平均入居期間は54.1ヵ月。

○職員

- ・8月3日：2階に 男性 派遣介護職員 入職（夜勤専従 週2回）
- ・9月1日：2階に 男性 非常勤介護職員 入職（夜勤専従 週2回）
- ・9月13日：1階に 男性 非常勤介護職員 入職（週2日）

- ・短時間バイトの利用状況については、職員の休み希望が重なった際の利用のみで収まっており、両フロア合わせても月に4回前後となっている。

(2) 前回会議以降の活動状況について

日時	行事名	参加人数	内容
8月16日	1階 夕涼み会	入居者8名 職員4名	昼食にうなぎを、おやつにフルーツポンチを用意。午後に陣取りゲームを企画した。
8月23日	南小 花火鑑賞 (屋上にて)	入居者8名 職員3名	両フロアとも屋上に上がる予定であったが、2階入居者で発熱者がいたため、1階のみとなった。
9月6日	町内会 子供みこし鑑賞	入居者5名 職員2名	駐車場にてスタンバイし、通りがかった子供みこしを応援。2階入居者も鑑賞する予定であったが、間に合わず。

○新型コロナウイルス感染症発生について

- ・ 8月9日：2階介護職員の新型コロナ陽性が判明
- ・ 8月11日：2階入居者1名、38℃後半の発熱
⇒ 8月12日：新型コロナ陽性と判明
- ・ 2階では職員1名・入居者1名のみで収束。8月22日より隔離等解除。

- ・ 8月16日：1階入居者1名、声枯れ。発熱ないものの咳症状出現。
⇒ 8月18日：新型コロナ・インフルエンザともに陰性。居室療養。
- ・ 8月17日：1階調理補助職員、頭痛と発熱
⇒ 8月18日：新型コロナ陽性と判明。2階との接点は全くなく、発症時期等を考えると別経路での感染？
- ・ 1階では調理補助職員1名のみで感染拡大せず。

○ふくしの仕事フェアについて

8月2日開催。当法人から、とらいふ武蔵野・光風荘が参加。事前に応募をされた方の面接も行い、採用を決めていたものの、入職前に辞退の連絡があった。当日は来場者数が100名を超えたとのことであった。

○第2回グループホーム連絡会について

8月14日開催。災害に対する備えや、酷暑による外出の難しさなどについて意見交換を行った。

○第三者評価 受審状況について

8月7日に施設内の場面観察を、9月10日に訪問調査（事前に提出した調査票に関わる聞き取り等）を調査機関に実施していただいた。後日、総合的なフィードバックを実施していただく予定。

【質疑応答・意見交換】

「運営」：入居の申し込みは多いものの、実際にいつ空室ができるか分からず、待機期間も長期化している。実際に入居の順番が回ってきたとしても、その頃には状態が変わってしまっている事が多い。そのため、19名という待機者がいても安心できない。職員配置については、シフトをまわしている状況であるが、早期に退職される方もいるため、多少余裕が出てきたとしても安心はできない。一方、短期バイトアプリの活用が減ったのは良い傾向だと思われる。

新型コロナウイルスについては、感染者は出たが大きく拡大せずに収束している。今後も新型コロナウイルス等の感染症に注意を払うことが必要だと思われる。

これらの事を踏まえると、光風荘の運営は比較的安定していると思われる。

「委員」：今回入職した職員は皆男性であるが、職員全体の男女の比率について教えてほしい。

「運営」：男女比は半々である。入居者の大半は女性であるため、男性職員が多くなる事への懸念はある。本来は女性入居者には女性職員が支援する同性介助が望ましいが、現在のところ問題は生じていない。

「委員」：母がお世話になっているが、世代的には特に、男性に肌を見せてはいけない等の教育を受けており、羞恥心もあると思う。我慢している事もあるかもしれない。

「運営」：介護職を希望する男性が以前よりも増えているとは感じる。

「運営」：新型コロナウイルスに対しては、8月に感染症の研修を行った。現在の社会情勢からみて、感染症が怖いからと言って職員の私生活を制限する事は難しい。職員が感染した事は仕方ない事として、感染が拡大しないような働きかけが必要だと感じる。例えばプライベートで感染リスクのある過ごし方をした際は、3日間程度は入居者への密接な直接支援を控えたり、他職員や入居者との会話等を控えたりといった配慮が必要かもしれないという旨を、研修にて伝えた。

「市等」：短時間バイトの方にはどういう業務をしてもらうのか。

「運営」：短時間バイトの方には、14時から18時までの前半と18時から21時まで後半の2枠を用意している。前半は入浴介助と洗濯等を、後半は夕食の見守り・介助や就寝介助をお願いしている。

「市等」：応募してくるワーカーは同じ方が多いのか。

「運営」：頻繁に募集をしていた際は、同じ方が月に3、4回入ってくれた事もあった。短時間バイトアプリには、ぜひ来てほしいワーカーさんをお気に入りとして登録し、限定して募集をかける事ができる仕組みがある。そうした仕組みを活用すると、以前来てくれた方に再び来てもらえる可能性が高い。それで応募がない場合は、自動で間口を広げた募集に切り替える事も出来るようになっている。

「市等」：短時間バイトの方への申し送りはどうしているのか。

「運営」：短時間バイトの方には入浴をお願いするので、入浴業務に関わる点に絞って申し送りを行っている。

「運営」：施設職員と短時間バイトの方で、仕事のやり方に差が出てしまう事はある。お気に入りに登録したワーカーさんに繰り返し入っていただく事で施設側のやり方も理解していただけたと思う。そうしたワーカーさんを直接雇用の職員に転換する事が出来れば良いと思う。

「運営」：短時間バイトを利用するにあたり、初対面となる方に入浴業務をお願いすることには抵抗があった為、当初は調理業務をお願いする事を検討していた。運営会社に相談した所、調理業務での募集はあまり聞いた事がなく、応募は見込めない可能性があるとの事で、入浴業務をお願いする事とした。実際は短時間バイトの方の対応が非常に丁寧で、入居者もさほど抵抗感なく入浴出来ているようである。

「運営」：いずれのワーカーさんも経験者である為、技術力の高い方が多い。光風荘の職員にとっても良い刺激になる面はあるが、依存し過ぎてはいけないと感じる。

2. 行政等からの情報提供について

「市等」：今年もケアリンピックを開催する予定。介護川柳を募集しているので、入居者様・ご家族様や職員等、誰でも介護への思いを寄せて応募していただければと思う。東京都福祉保健財団からは人材育成や業務効率化に関するセミナーの案内が来ている。また介護労働安定センターからは、介護職員の健康促進やカスタマーハラスメントへの対応に向けた職場環境作りについての相談窓口について案内が来ている。参考にいただければと思う。

【質疑応答・意見交換】

「市等」：19名の待機者がすんなり入居できると良いと思う。

「運営」：待機者のうち半数程度は、心身機能の変化等により入居が難しいのではと思う。新型コロナウイルスが流行し始めて数年は、申し込みも少なく空室がなかなか埋まらないという時期もあった。

「委員」：第五小学校の解体工事の音が気になるか。

「運営」：建物の中にいると思いの外気にならない。入居者も気にされている様子はなく、解体前と変わらない生活を送られている。

3. その他

- ・ 次回の運営推進会議は11月19日（水）18時を予定している。